

高齢者肺炎球菌ワクチン 予防接種のお知らせ

これは高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種のお知らせです。
これから接種をご希望の方は、このお知らせをよくお読みいただき、接種してください。

1 予防接種対象者

② 65歳の方

②60歳～64歳の区民で、心臓、腎臓、呼吸器の機能または、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に障がいをもつる人で接種を希望する人(身体障害者手帳1級程度)

※高齢者肺炎球菌ワクチンを公費助成で接種できるのは生涯で1回限りです。

※このお知らせが届いた方でも、過去に公費や自費で肺炎球菌ワクチンを接種したことがある方は対象外となります。

2 有効期間

65歳の誕生日の前日～66歳の誕生日の前日

※60歳～64歳の早期接種対象者の方は、申請のあった年度内

⚠有効期間外に接種すると全額自費になります。

3 接種回数・接種費用(自己負担額)

1回 無料

※脾臓摘出手術を受けた方は健康保険の対象となるため、医師(医療機関)にご相談ください。

4 使用ワクチン

PCV20(沈降20価肺炎球菌結合型ワクチン)

※令和8年度より、定期接種で用いるワクチンがPPSV23からPCV20に変更になりました。PPSV23とPCV20はどちらも肺炎球菌ワクチンですが、免疫の作られ方が異なり、PCV20のほうがより高い効果が期待されています。2024年時点で対応する血清型もほぼ同じで、安全性にも大きな違いはありません。

4 接種場所

同封の「医療機関一覧」の中から医療機関を選んで受けてください。

予約が必要な場合もありますので、事前に必ず医療機関にご確認ください。

※東京23区内の指定医療機関であれば同封の「予防接種予診票」を使用して受けることができます。渋谷区以外の22区での接種を希望する場合は、接種を希望する医療機関または医療機関所在地の保健所へお問合せください。

5 接種方法について

(1)必ず事前に医療機関へ連絡し予約をしてください。

(2)裏面の「肺炎球菌ワクチンの接種について」を必ずお読みになり、体調の良いときに接種してください。

(3)接種当日は同封の「予診票」に記入し医療機関へ提出してください。(検温は当日接種する医療機関で行います。)

(4)接種後に医療機関から「予診票(本人控)」が渡されます。これは、接種した記録となります。再発行はできませんので、健康手帳に貼るなどして大切に保管してください。

6 他のワクチンとの同時接種・接種間隔について

医師が必要と認めた場合は、インフルエンザワクチンや新型コロナワクチン、帯状疱疹ワクチンなどと同時接種が可能です。

また、他のワクチンとの接種間隔に制限はありません。

※裏面も必ずお読みください※

肺炎球菌ワクチンの予防接種について

1 肺炎球菌とは

肺炎を引き起こす原因菌の一つで、成人が日常でかかる肺炎の原因菌としては肺炎球菌が一番多いといわれています。この菌が引き起こす病気には、肺炎のほかにも、気管支炎、副鼻腔炎、中耳炎、髄膜炎などがあります。体力が落ちている時や高齢者など免疫力が弱くなっている人に対して病気を引き起こしやすく、抗生物質に抵抗性をもった肺炎球菌が増えています。

2 肺炎から身を守るには

肺炎に限りませんが、感染症から身を守るためには、外出後などのこまめな手洗い、うがい、バランスのとれた栄養、規則正しい生活と十分な休養・睡眠、体力をつけるための適度な運動といった基本をしっかりと守ることが大切です。高齢者の肺炎には誤嚥によるものも多く、これは、歯磨きなどの口腔ケアと口腔機能を高めることで予防できます。ワクチンの接種も効果的です。肺炎に関係するワクチンにはインフルエンザワクチン、肺炎球菌ワクチンがあります。

3 ワクチンの効果

肺炎球菌には、100 種類以上の血清型があり、定期接種で使用される沈降 20 価肺炎球菌結合型ワクチン(PCV20)は、そのうち 20 種類の血清型を対象としたワクチンであり、この 20 種類の血清型は、成人侵襲性肺炎球菌感染症(※)の原因の約 5～6 割を占めるという研究結果があります。

また、沈降 20 価肺炎球菌結合型ワクチン(PCV20)は、血清型に依らない侵襲性肺炎球菌感染症全体の 3～4 割程度を予防する効果があるという研究結果があります。

※侵襲性感染症とは、本来は菌が存在しない血液、髄液、関節液などから菌が検出される感染症のことをいいます。

4 接種を受けることができない人

- ①明らかに発熱している人(通常37.5℃以上)
- ②重い急性疾患にかかっている人
- ③本ワクチンの成分によってアナフィラキシーを起こしたことがある人
- ③ その他、医師が予防接種を受けない方がいいと判断した人

5 接種に注意する必要がある人

以下の人は、あらかじめかかりつけ医に接種のご相談をなさってください。

- ①心臓血管系、じん臓、肝臓や血液疾患や発育障害などの基礎疾患(持病)がある人
- ②予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた人、及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状がでたことがある人
- ③過去にけいれんを起こしたことがある人
- ④過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の人がいる人
- ⑤本ワクチンの成分でアレルギーを起こす可能性がある人

6 接種後の注意

- ①接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射部位をこすらないでください。
- ②接種当日の激しい運動は避けてください。
- ③接種後に接種部位の症状(赤身、腫れ、しこり、痛み)や発熱が出ることがあります。通常は数日中に自然に治まりますので、心配ありません。
ただし、高熱、けいれん、局所の異常反応など体調に大きな変化が生じた場合は、速やかに医師(医療機関)の診察を受けてください。

7 予防接種の副反応と救済制度について

このワクチンによる主な副反応は、接種部位の症状(赤身、腫れ、しこり、痛み)や発熱などです。また非常に稀ですが、ショック症状、アナフィラキシー症状、血小板減少、ギランバレー症候群などが報告されています。この予防接種により引き起こされた副反応で健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく救済制度により、一定の給付が行われます。

8 再接種について

PCV20は1回接種で長期の免疫が期待できるため、原則再接種は不要です。

<担当係> 渋谷区保健所 地域保健課 予防接種係 電話3463-1412(直通)